

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。



第四期

県教育振興基本計画を策定!

長崎県教育委員会は、本県教育の目指す方向性を示すため、新たに「第四期長崎県教育振興基本計画」(2024年度～28年度)をつくりました。本計画の方向性に沿って、県民の皆様と共に、子どもたちが持続可能な社会の創り手となり、豊かな人生を切り拓く力を身につけていけるよう取り組んでいきます。

基本テーマは

「つながりが創る豊かな教育」



教育における課題は、多様化・複雑化してきており、支援を必要とする子どもへの対応や新たな資質・能力の育成など、学校や家庭だけでは解決が困難な状況になってきています。これまで以上に、学校・家庭・地域をはじめ、行政や企業等ともつながりを深めながら、未来を担う子どもたちを地域の皆様と育てていきたいという想いをテーマに込めています。

計画の体系

第四期長崎県教育振興基本計画では、4つの「政策の柱」を設定しています



政策の柱1 一人一人に応じた最適な学びを提供する

- 成長の基盤となる資質・能力の育成 (確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成)
- 「ながさきの魅力を心と記憶に刻む」「人と産業に出会う」ふるさと教育の推進 など

政策の柱2 新しい時代に求められる魅力ある学校をつくる

- 県立学校の魅力化の推進
- 児童生徒が主体的に参画する学校づくりの推進 など

政策の柱3 生涯にわたり誰もが学び、活躍できる地域づくりを推進する

- 生涯を通じて学ぶことができる拠点づくり
- 地域と学校の未来をつくる活動の推進 など

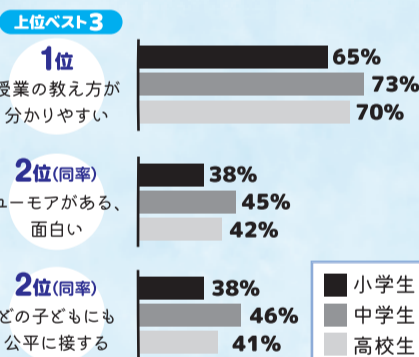
政策の柱4 人生や地域に潤いと活力をもたらす、文化芸術・スポーツ活動を推進する

- ふるさとへの誇りを育む文化芸術の振興と次世代への継承
- 子どものスポーツ機会の充実と地域に活力を与えるスポーツの振興

児童生徒のアンケートについて

県教育委員会は昨年7月、県内の児童生徒を対象にアンケートを実施し、1万26人から回答を得ました。その結果も踏まえて計画を策定しました。回答の一部を抜粋して紹介します。

Q 理想の先生はどんな先生ですか?



Q 理想の学校や教育は?

- 小学校
- 授業以外で分からないこともタブレットで調べられるようにしてほしい
- 中学校
- 先生が生徒の意見を取り入れ、温かく、高め合えるような校風で、理不尽や不公平のない高校があれば通いたい
- 高校
- 同年代だけでなく幅広い年齢層の方々と交流する機会がほしい

【その他のアンケート設問】

- ・高校を選んだ理由
- ・ICTを活用して学びたいこと
- ・読書に関すること
- ・利用したい放課後の居場所などについても尋ねました



Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは諫早農業高校の

中嶋佑果先生

動物愛と教える楽しさ胸に



中嶋先生ってどんな先生?

動物科学科主任で、愛玩(あいがん)動物が専門。動物たちと深く関わることで、生徒たちと命について考えます。農業情報処理の授業も担当しています。

先生のリフレッシュ方法

4才の飼い猫「おはぎ」と遊ぶと癒やされます。休日に友人と県内をドライブして、おいしいものを食べることも好きです。

教員を目指したきっかけは?

もともと動物が大好きでした。将来飼育員になりたいと思い、県立西彼農業高校に進学。3年生の頃、高校生が先生役になって地元の小学生に動物の飼育や野菜の育て方などを教える「学童ふれあい広場」というイベントがあったのですが、そこで「人に教える楽しさ」に目覚めて教師を志すようになりました。

この仕事に就いて良かったと思うときは?

何か特別なことをしている時ではなく、普段生徒たちと接している時や、何気ない会話をしている時に「やっていた良かったな」としみじみ感じます。また、生徒たちが「授業がおもしろい」と言ってくれた時や、卒業生が遊びに来てくれた時はやりがいを感じてうれしいですね。

農業を含め専門高校の教員の醍醐味は?

フィールドワークに従事しているので、自分自身の知識や経験が蓄積されていき、技術が磨かれていくことに喜びがあります。校内の研修を受けて未経験のことや専門外の学問に挑戦することも多いですし、他の先生と交流する中で新しい知見が得られるので、自分の成長を感じることができます。